

平成30年度 神奈川県立平塚工科高等学校 学校経営計画

基本理念

日本の産業界をリードする創造性豊かな人材育成

教育目標

- 1 科学技術の進展を担う、幅広い教養・技能・技術の育成
- 2 社会の変化や課題に主体的に対応できる資質・能力をもった創造性の育成
- 3 他者の人格や個性を尊重し思いやりのある人間性の育成
- 4 知・徳・体（確かな学力、豊かな心、健やかな体）の調和

校訓

誠実
健康
創造

重点目標

- 1 学力の定着に向けた授業改善に取り組み、達成感を感じることができる授業の構築を目指す。
- 2 主体性の向上及び部活動の活性化を図るとともに、個別の課題に対応できる体制を整備する。
- 3 実体験を通じた、進路決定ができるようにする。
- 4 中学校との連携を密にすることで、本校の存在意義を高める。
- 5 定期的に事故・不祥事防止研修会を実施し、教職員の危機管理意識の向上に努める。

取組内容（目標）

【入口】

① 生徒の確保（入試競争率UP）

- ・中学校の訪問の充実（100校以上）
- ・体験型の学校説明会の充実（4回以上）
- ・中学校教員への説明会の開催（1回以上）

② 情報の発信

- ・学校HPの更新充実（毎週更新）
- ・地域行事への参加（10回以上）
- ・地域会議での取組や成果の広報（6回以上）

【中身】

③ 学力の向上

- ・基礎学力の向上（1年数学学び直し）
（基礎力診断テストD3：20%以下）
- ・資格取得の合格率の向上（各60%以上）
- ・授業研究による課題点の共有化（継続）

⑤ 課題解決力の育成

- ・大学と連携した授業の実施（年5回）
- ・熟練技術者による技術指導（各系2回）
- ・競技会、コンテスト等への参加（継続）

④ 人間性の向上

- ・日常の挨拶の徹底（継続）
- ・基本的生活習慣の確立
（遅刻数10%減、指導件数減）
- ・いじめの未然防止（いじめゼロ）
- ・個別の教育相談の充実（早期解決）
- ・部活動加入率の増加（55%以上）
- ・生徒主体の行事運営（継続）
- ・個別対応の充実（面談指導の徹底）

【出口】

⑥ キャリア教育の充実

- ・ドリカムプランの充実（系選択の指導）
- ・インターンシップの拡充（参加者10%増）
- ・大学研究室でのインターンシップ実施（4室）

⑦ 進路指導の充実

- ・個別面接指導の充実（全職員対応）
- ・進路未決定者ゼロ（継続）
- ・大学等進学希望者への指導の充実
（補習体制の確立）

【教職員】

⑧ 事故防止の徹底

- ・入学者選抜での事故防止（事故ゼロ）
- ・職員主体の研修会の実施（7回）
- ・教育環境の点検と確実な整備（継続）
- ・地域の防災拠点としての連携強化
（2回以上の合同避難訓練と避難施設の確認）

⑨ 学校運営（変化を求め考える組織）

- ・ビジョンの明確化
- ・改革意識の向上
- ・チームとしての意識化
- ・対話による課題の把握
- ・個々の教育力の発揮

笑顔あふれる職場を目ざして

- 1 個々の連携とチームとしての対応
 - ・優しさと思いやりを持った対応
 - ・課題の共有化と対応方法の共通化
 - ・個々の意見の尊重と対話による課題解決
- 2 時間の効率化
 - ・会議開始時間の厳守
 - ・資料等の事前配付
 - ・早期対応と早期解決
- 3 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）
 - ・仕事を一人で抱えない
 - ・報告、連絡、相談
 - ・明るく楽しく前向きな姿勢
- 4 事故防止
 - ・個人情報管理の徹底
 - ・結果の予見
 - ・心のゆとり

平成 28 年 3 月 28 日

平塚工科高等学校長 様

教 育 長

平塚工科高等学校のミッションについて

標記について、「かながわ教育ビジョン」に基づき、教育を展開するとともに、「県立高校改革基本計画」に示した「改革のめざす姿」を共通の目標とし、「県立高校改革実施計画」の内容を踏まえた上で、次のミッションにより、学校づくりに取り組むこと。

全日制専門学科の高校として、産業の動向等に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、工業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて編成を行う。

これまで、地域に対する深い理解と貢献の意識をもつ、神奈川の産業を担う将来のスペシャリストの育成に取り組んできたが、今後はさらに、科学技術の進展を担うために必要な課題を発見し解決する力、主体的に学ぶ意欲、技能を身に付けるための不断の授業改善の実施等、これからの時代に必要な資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

生徒の安全、安心の確保に努めるとともに、学校運営協議会制度を導入し、地域等との協働による、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりに取り組む。

配置された職員に対する計画的な人材育成と、個々の資質・能力がいかされる人事評価・人材配置を行い、学校教育力の一層の向上に取り組む。

学校として取り組むべき課題については、情報収集と分析を行い、企画会議等で解決方策を検討、策定し、その遂行により課題解決を図る。

副校長、教頭はじめ、全ての職員の言葉に耳を傾けつつも、所属長たる校長として「決断する覚悟」をもって職に当たること。